

瑞若会への「株券寄付」基金について

愛知工業大学同窓生からの寄付による株券の配当金で本山キャンパスと自由ヶ丘キャンパスを拠点とした下記のような活動の支援補助をしています。

- ・両キャンパスにおける同窓会会員による各種活動への支援
- ・本山キャンパス公開講座の参加費の一部補助
- ・在学生や社会に対して、企業経験者の経験・体験等の講演会開催への支援

※詳細は下記をご覧ください。

<http://aitech.ac.jp/~mizuwaka/kitei/kabu.shtml>

学園創立100周年を記念して

平成24年10月18日 じゅんなぎねんかん 「淳和記念館」竣工!

愛工大名電高等学校(名古屋市千種区)にできた淳和記念館は、学園に係わる資料等を展示するメモリアルギャラリー他、合奏室兼記念ホール、体育館、電気・機械等の実習エリアを備えた建物です。



後藤淳理事長の「淳」の字と学園の発展に理事長とともに尽くした故和子夫人の「和」から命名されました

愛工大テクノフェア ～創造・ひとづくり・ものづくり～ 開催!



名古屋電気学園 100周年記念として、2012年12月7日に「愛工大テクノフェア」が愛知工業大学八草キャンパス1号館にて開催されました。総合技術研究所をはじめとする研究センターと大学の3学部7学科14専攻で実施されている研究に関わる技術シーズや研究成果の展示のほか、講演会などが行われました。産学連携の一層の促進に役立てるきっかけとなるよう、地域企業の皆さんに広く公開された催しです。

「ロボットミュージアム」オープン!



エクステンションセンターは、学園創立100周年記念として、2012年3月24日に八草キャンパスの同センター(12号館)内に「ロボットミュージアム」を開設しました。ロボットの研究やその成果を広く社会に知ってもらい、さらに各地のイベントに出向いて社会貢献を図ることを目的にオープンしたものです。

当日は、古橋研究室の鉄人プロジェクトはじめ、奥川研究室、中野研究室、学生のロボットアート部、レスキュープロジェクト等で研究、開発した各種ロボットの展示、実演のほか、本学客員教授でからくり人形師・九代目玉屋庄兵衛さんによるからくり人形の実演、ワークショップなどが行われました。大勢の親子連れらが訪れ、「レスキュークローラー」の操縦や、保護者と一緒にコップ、ストローなどを使った「がっきロボ」作りなどを楽しみました。

OB掲示板へのご参加について

同窓会誌『みずわか』では、会員皆様の情報発信や近況報告の場としての誌面の活用を進めて参ります。次年度、「OB掲示板」にご参加いただける方は、ぜひとも情報をお寄せください。(本誌9ページをご参照ください)

愛知工業大学同窓会支部結成のために必要とされる手続き

1. 支部結成発起人(氏名、卒業年、学科)
 2. 支部同窓生氏名(氏名、卒業年、連絡先等)
 3. 支部則原案(見本を作成していますので、参考にしてください)
 4. 支部本部となる連絡場所…連絡先、住所、電話番号記入
 5. 正式に支部として承認されましたら、支部則に基づき支部長、副支部長、会計その他の役員を本部に届ける
- ※職場支部結成については、10名以上の同窓生が在籍していること

会員の皆様へ

ご住所や勤務先などの変更等がありましたらお知らせください。また、地域での同窓会活動の状況など皆様からの情報や、同窓会および同窓会誌『みずわか』に対するご意見も、お待ちしております。※下記のメールまたはFAXでご連絡ください。

同窓会・同窓会誌「みずわか」に関するお問い合わせ、申し込み、ご連絡は **愛知工業大学同窓会事務局** まで

郵送

〒470-0392
豊田市八草町八千草1247

TEL

0565-43-1032
(FAX共通)
月～金 9:00～16:30

e-mail

mizuwaka@aitech.ac.jp

※ご登録いただいた個人情報は同窓会に関する案内および大学から依頼された案内の発送のみに使わせていただき、本人の承諾なく第三者に開示することはありません。なお、個人情報の取扱いについては、HPIに明記した瑞若会個人情報保護ポリシーに準じます。

愛知工業大学同窓会誌(瑞若会会報) MIZUWAKA(みずわか)

発行日 2012年12月
発行 愛知工業大学同窓会
〒470-0392 豊田市八草町八千草1247
Tel.&Fax.0565-43-1032
発行責任者 岩月 栄治

編集 MIZUWAKA Vol.45 編集委員会
鮎澤 智美、北川 一敬(チーフ)、葛谷 新一郎、
倉橋 有希、後藤 時政、立枕 孝之、津田 紀生、
橋本 知佳、前田 賢、山田 千代美(事務局)

印刷 株式会社 大東社
〒494-0003 一宮市三条字大平27
Tel.0586-62-1168 Fax.0586-62-1751
制作 アクア・ビット

<http://www.ait.ac.jp/>

MIZUWAKA

瑞若会会報 vol.45

瑞若会は創立50周年を迎えました。



2012 Topics: 瑞若会創立50周年記念行事を開催!

がんばるOB: 同窓生の近況
クローズアッププロフェッサー: 石井成美教授
クラブ紹介: 卓球部

瑞若会創立50周年記念行事開催!

2012年7月7日(土)に、名古屋マリオットアソシアホテルの16階、17階、51階を会場にして、850名余の同窓生や関係者が集い、瑞若会創立50周年記念行事が盛大に催されました。



理事会の様子



学科別同窓会の様子
(左上:機械・左下:土木・右上:電気)



功労者表彰の様子



15:00~15:30に行われた、軽音楽部の演奏(上)
17:00~17:30に行われた、ギター部の演奏(下)



田原総一朗氏による記念講演



上から名古屋電気学園・後藤淳理事長
愛知工業大学・後藤泰之学長
道家秀男同窓会会長

13:00~14:00 理事会

会長の挨拶から始まり、事業報告、決算報告などに続き、質疑応答では「常任理事の若返りをはかってはどうか」との意見が出ました。その後、長野県支部設立についての説明が行われました。

14:00~15:00 学科別同窓会

大学の昔と今をスライドで比較して見せるなど、各学科で工夫を凝らした同窓会が行われました。

15:00~15:30 記念総会・功労者表彰

今まで以上に大勢の人が参加し、盛大な記念総会となりました。同時に、学園100周年への寄付金贈呈と、初代から第9代の会長に功労者表彰が行われました。

15:30~17:00 記念講演

ジャーナリストの田原総一朗氏による「時代を読む」と題した講演があり、同窓生からは「ユーロの先行き」や「原発」「政治」など幅広い質問が出ました。

17:30~19:30 記念パーティー

道家秀男同窓会会長挨拶に続き、名古屋電気学園・後藤淳理事長からは、寄付金へのご協力に対するお礼とともに大勢の卒業生が学園のスタッフとして活躍し、ものづくりを中心に卒業生が「愛工大ここにあり」とがんばっていただいているのたいへん喜ばしいという内容のお話がありました。続いて、愛知工業大学・後藤泰之学長からは同窓会から大学へのさまざまな支援へのお礼と、ものづくりに対する実学教育をしてきたことや卒業生の活躍により、社会での評価につながっている旨の話と、今後の瑞若会の発展を願うとともに卒業生

が誇れる母校になるよう大学を発展させるというお言葉をいただきました。

愛名会会長・神尾隆氏、愛知県私立大学同窓会連合会会長代理・水野孝安氏の祝辞と続き、愛知工業大学後援会会長・立木大介氏より乾杯のご発声があり、にぎやかにパーティーが開幕しました。途中には、粥川なつ紀氏ひきいるJazzバンドの演奏やお楽しみ抽選会もあって、終始なごやかな雰囲気の中、先生方や同窓生と旧交をあたためる同窓生の姿があちらこちらで見られました。

■ なごやかな雰囲気の記念パーティー



経営
情報科学

応用化学

土木

機械

電子
情報通信

電気

建築
建築工学
建築環境

瑞若会50年を振り返って

今年、50年を迎えた瑞若会。大学の歩みと瑞若会の歴史を振り返り、皆さんのコメントとともにご紹介します。

- 1959 名古屋電気大学を名古屋市千種区若水に開学。後藤 鉦二学長就任
電気工学科設置
- 1960 名古屋電気大学を愛知工業大学と名称変更
電子工学科・応用化学科設置
- 1961 本館・応用化学館竣工
- 1962 名古屋電気学園創立50周年記念式典挙行
機械工学科・経営工学科設置
- 1963 **第2回総会開催**
愛知工業大学同窓会設立
工学部第Ⅱ部に電気工学科・機械工学科設置
電子計算機室開設
- 1964 **第3回総会開催**
八千草台への移転拡充計画に着手
- 1965 **第4回総会開催**
工学部第Ⅰ部に土木工学科設置
名古屋電気短期大学を愛知工業大学短期大学部と名称変更
- 1966 **第5回総会開催**
大学院工学研究科修士課程を開設し、電気工学専攻と応用化学専攻を設置
八千草台に1号館・学生寮3号棟竣工。八千草台へ移転開始
- 1967 **第6回総会開催**
本部棟・学生寮2号棟竣工
- 1968 工学部第Ⅰ部に建築学科設置
2号館・学生寮1号棟・寮食堂竣工
- 1969 3号館竣工
- 1970 **第7回総会開催**
4号館竣工
- 1971 後藤 鉦二理事長・学長中国訪問。周恩来首相との会談で第31回世界卓球選手権大会に国交のない中国チームの参加を要請(ピンポン外交)
- 1972 後藤 淳理事長・学長就任
名古屋電気学園創立60周年記念式典挙行
附属環境工学研究所設立
5号館竣工

1962年
第一回卒業生の記念撮影



みずわか・topic

同窓会発足、同窓会規約制定(1962年)

みずわか・topic

同窓会会誌創刊号発行(1966年)



1967年
完成した本部棟とその周辺



みずわか・topic

同窓会会誌を「瑞若」と命名し、『瑞若Vol.2』を発行(1967年)



1971年
中国の周恩来首相と握手する後藤 鉦二学長



瑞若会初代会長 **加藤 厚生氏** (37E)

1964~1970年在任



同窓会は大事な役割を担う

設立当時は38人という小世帯で、会員全員を知っており、和気あいあいとした雰囲気でした。ただ、書類はすべて手書きで、少し大変でしたが…。それから比べると、ずいぶん立派になったと思います。これも大学の発展があってこそです。

同窓会は社会の中で「人とのつながり」という点でも大事な役割を担うものだと思います。とくに大学は同業の人も多いので、仕事にも役立つのでは…。それにお互いが元気な顔を見せて安心し合う場でもありますね。地元で活躍している同窓生も多いですし、こうして同窓会で会うのはとても楽しみです。

瑞若会歴代会長 (その1)

- 第2代 細江 文彦氏(38E) 1970~1976年在任
- 第3代 若山 茂氏(37E) 1976~1982年在任
- 第4代 有川 満泰氏(37E) 1982~1988年在任
- 第5代 石川 貴之氏(41K) 1988~1994年在任



苅谷 守計さん (52E)

研究室の先生のことは忘れられません。というのも、最初の就職先を2年で辞め、今の会社に再就職するにあたって、大変お世話になったので…。当時、体育館もなく、今の大学の充実ぶりにびっくりしています。

私たちがいた研究室は4年生から8年生までいて、20人のうち現役の4年生が3人。バラエティに富んでいましたね。でも、せっかく一番上の学年になったと思ったのに研究室では一番年下でした(笑)。



山際 博さん (59D)

研究室にじゅうたんを敷いて、まるで家のようにコンロや鍋を持ち込んで忘年会をしたことが懐かしい思い出ですね。先生もよく許してくれたと思いますよ。

中部でいちばん卒業できない学校と聞いてました。3年生の頃は、火曜だけが唯一暇で、あとは実験が終わると図書館で調べるといって日々でした。今のようパソコンで簡単に調べられない時代でしたから…。



平林 俊哉さん (63R)

瑞若 Vol.7 (1972年)



1978年
計算センター開所式



みずわか・topic

瑞若会設立15周年を記念し、「瑞若賞」設立(1978年)

1983年
愛和会館竣工



瑞若 Vol.16 (1983年)



瑞若 Vol.19 (1986年)

みずわか・topic

瑞若会設立25周年を記念し、祝賀会開催(1988年)

1990年
愛和会館で行われた東南大学との姉妹校提携10周年記念式典
愛知工業大学・中国東南大学
校提携10周年記念式典



1973 瑞若会より大学祭実行委員会への援助開始

大学院工学研究科修士課程に土木工学専攻を設置
専攻科に経営工学専攻を設置
3号館別館・1号館別館・6号館・機械実習工場・振動実験棟竣工

1974 八千草台への移転完了

4号館別館・附属図書館竣工

1975 経営工学科機械実習棟竣工

1976 **第8回総会開催**

瑞若会会員名簿発行

工学部第Ⅰ部に建築工学科設置
大学院工学研究科修士課程に機械工学専攻・建築学専攻を設置

1977 瑞若会より卒業生に卒業記念品贈呈開始

メキシコ大学との交流開始

鉦徳館・計算センター竣工

1978 愛知工業大学短期大学部廃止

7号館・第2本部棟竣工

1979 **第9回総会開催**

瑞若会より退職教員に退職記念パネル時計贈呈開始

開学20周年記念式典挙行

1980 中国南京工学院(現・東南大学)と姉妹校提携

1981 国際交流センター開設

1982 **第10回総会開催**

名古屋電気学園創立70周年記念式典挙行

1983 愛和会館竣工

1984 支部設立促進委員会・資金運用委員会設置を決定

岐阜県支部・関東支部設立総会開催、職場支部多数設立

1985 **第11回総会開催**

1986 北陸支部設立総会

小体育館・陸上競技場・野球場竣工

1987 メキシコ州又エボレオン大学と交流開始

8号館竣工

1988 静岡県支部設立総会開催

工学部第Ⅰ部に情報通信工学科設置

9号館竣工

1989 開学30周年記念式典挙行

1990 東南大学との姉妹校提携10周年記念式典挙行

瑞若会50年を振り返って

- 1992** 名古屋電気学園創立80周年記念式典挙行
大学院工学研究科に博士課程を設置し、電気・材料工学専攻、生産・建設工学専攻を開設
大学院工学研究科修士課程を電気電子工学専攻、材料化学専攻、生産システム工学専攻、建設システム工学専攻の4専攻に改組
専攻科経営工学専攻廃止
附属環境工学研究所廃止
総合技術研究所竣工、開所
- 1995** 10号館竣工
- 1996** Start up AIT手帳、遊創空間発行
中国分会との交流会開催
大講義棟竣工
- 1997** 第15回定期総会開催
三重県支部設立、中国・四国支部設立
- 1998** 情報教育センター開設
- 1999** 開学40周年記念式典挙行
耐震実験センター開設
- 2000** 第16回定期総会開催
東南大学との姉妹校提携20周年記念式典挙行
経営工学科を改組し、経営情報科学部を開設
エクステンションセンター開設
11号館竣工
- 2001** AITプラザ完成
- 2002** 名古屋電気学園創立90周年記念式典挙行、瑞若会式典参加
米・ケンタッキー大学と学術交流協定締結
- 2003** 第17回定期総会開催
みらい工房開設
学生支援センター開設
インターンシップ支援センター開設
タイ・チェンマイ大学と協力協定締結
12号館竣工
- 2004** 理事長の叙勲を祝う会開催
後藤 泰之学長就任
工学部8学科を電気学科(3専攻)、応用化学科(1専攻)、機械学科(2専攻)、都市環境学科(3専攻)の4学科9専攻に、経営情報科学部2学科を情報科学科(2専攻)とマーケティング情報科学科(1専攻)の2学科3専攻に改組

1992年
総合技術研究所竣工



みずわか・topic

瑞若会中国分会設立
(1994年)

みずわか・topic

瑞若会設立35周年記念
行事開催(1997年)

1999年
耐震実験センター開設



瑞若 Vol.33
(2000年)



2001年
AITプラザ完成



みずわか・topic

40周年瑞若会総会開催
(2003年)



瑞若 Vol.37
(2004年)

瑞若会会長 道家 秀男氏 (51A)

2009年より在任中



愛工大卒を誇りに積極的な関わりを

創立50周年記念総会では、およそ850人もの方が集まってくれてうれしいですね。1年がかりで準備した甲斐がありました。

卒業生も5万6千人あまりいて、中部を中心にものづくり産業で活躍していますが、企業の方々からも「人間としてバランスがいい」「素直だ」など、好評価をもらっています。ぜひ、同窓生の皆さんも愛工大を卒業したことを誇りに思い、もっと大学を知って積極的に関わってもらえるとうれしいですね。

同窓生と在校生が交わる場を創造したい

支部の積極的な活動が瑞若会の活性化にもつながると思い、今までの3年間で会長として支部総会などにもなるべく顔を出すようにしてきました。各支部の役員から様々な意見を聞くことができ良かったと思います。

再び会長をさせていただくことになりましたので、次の3年間では同窓生と在校生の垣根をはずすような仕掛けができればと考えています。例えば、大学にギャラリーのような場があり、同窓生が社会に出てから作った製品や作品などを展示したりするのも一つの方法かもしれません。在校生が同窓生とコミュニケーションをとったり、連携したりする場があると、絆も生まれ、就職の機会につながる場合もあるかもしれませんし、双方にとって有意義な交流になると考えています。



岡村 孝一さん (H12M)

ゼミでは流体の研究をしていましたが、装置も工場の先生方の力を借りて自分たちで作ったのがいい経験になりました。機械学科は食堂や売店にも遠く、大学内での移動が筋トレや、気分転換でしたね(笑)。

3年生までは食堂に集まって遊ぶ計画ばかり立っていたのが、4年生からは結構勉強した記憶があります。最初の就職先は大学の出入り業者で、各学科をまわって学生時代より大学に詳しくなりましたよ(笑)。



藤吉 敦恭さん (H7C)

4年間、執行委員会に属していたので、夏休みもなく忙しい学生時代を送りました。4年生のときに、大学に泊まり込んで卒業設計をしたのが思い出深いですね。自分でもいちばん頑張ったと思える時期です。



榎本 敬子さん (H23AA)

毎日、フェンシング部の練習があり、授業以外では体育館にいる時間が長かったですね。その甲斐あってか、3年生のときに、インカレ団体2位の成績を残すことができました。大学祭も楽しい思い出です。



福田 守孝さん (H17T)

2005年
本山キャンパス竣工

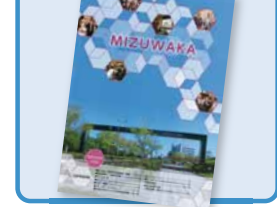


2005年
21世紀・万博大学



みずわか・topic

会報誌『瑞若』をVol.42よりA4版に変更(2009年)



みずわか・topic

瑞若会主催「学内企業展」開催(2010年)

2010年
自由ヶ丘キャンパス完成(上)
八草キャンパス(新1号館)完成(下)



2005 後藤 淳理事長・総長の旭日中綬章受章祝賀会参加
後藤 淳理事長・総長が瑞若会名誉最高顧問就任
後藤 泰之学長が瑞若会名誉会長就任

大学院に経営情報科学研究科博士前期課程、博士後期課程開設
大学院工学研究科修士課程を博士前期課程、博士課程を博士後期課程に名称変更
愛知万博にて「21世紀・万博大学」開学(4~9月)
本山キャンパス・地域防災研究センター・13号館・八千草寮南館竣工

2006 第18回定期総会開催
教職員支部設立総会開催

大学院工学研究科博士前期課程の生産システム工学専攻を機械工学専攻に名称変更
韓国海洋大学校と協力協定締結
エコ電力研究センター開設
新本部棟竣工

2009 第19回定期総会開催
同窓生入試制度実施

工学部・経営学部・情報科学部の3学部改編
開学50周年記念映画「築城せよ!」劇場公開

2010 大学祭工科展と駅伝大会にて「瑞若会特別賞」授与
八草キャンパス(新1号館)、自由ヶ丘キャンパスを同窓生に披露
自由ヶ丘キャンパス・八草キャンパス(新1号館)完成

2012 瑞若会創立50周年記念行事開催(2012年)

瑞若会歴代会長 <その2>

- 第6代 大塚 敏雄氏(38E) 1994~2000年在任
- 第7代 大葉 正之氏(42M) 2000~2003年在任
- 第8代 太田 修 氏(41E) 2003~2006年在任
- 第9代 野寄 克己氏(41K) 2006~2009年在任



本業の傍ら希少価値の高いハチミツの商品化に成功



小野田養蜂場・孝宗園
小野田 賢一氏 (H16A)

■世界で評価されたハチミツ

造園業の傍ら、お父さんが始めた養蜂業に力を入れている小野田さん。ニホンミツバチから採った「日本みつばち百花蜜」を、世界の食品の味を審査する国際味覚審査機構 (iTQi) の2012年度審査に初めて出品し、優秀味覚賞の2つ星を獲得しました。

そもそもの始まりは、2009年にお父さんが造園の作業中にニホンミツバチの分蜂群を見つけ、趣味として養蜂を始めたのがきっかけ。「父が採蜜したハチミツを口にしたときに、今まで食べたどんなハチミツより味や風味が優れていると感じたんです。それから専門書を読んだりしながらニホンミツバチの飼育方法を学び、お父さんと二人で本格的に取り組めます。

■ニホンミツバチの良さを伝えたい

現在の日本では、セイヨウミツバチによるハチミツが主流ですが、日本固有のニホンミツバチにひかれたという小野田さん。半径2Km以内のすべての草花を求めて採蜜するので、四季の花の蜜が凝縮されているのだとか。「ニホンミツバチのハチミツは幻と言われるほど珍しいこともあり、せっかくなら徹底的にこだわって品質を高め、多くの人に知ってほしいと思っています。そのために付加価値をどう付けるか考えながら人に話をしたり、相談したりする中で、iTQiのことも知りました」。今年3つ星を目指して、挑戦したいと小野田さんは語ります。

■建築科を出て家業の造園業へ

大学では建築を専攻し、毎週のように製図の課題に追われ、その合間にアルバイトをし、期末試験後に友人たちと飲みに行くのが唯一の遊びというぐらい忙しい学生時代を送っていた小野田さん。就職は建築関係を目指したものの、不況もあってなかなか見つからず、家業の造園業で人が辞めたことから手伝うようになって造園業の道へ。「実は花粉症で、かつ高所恐怖症なので、最初は造園の仕事ができるのかなと思っていました」。仕事はやりながら覚えていけというお父さ

▼複雑な味わいの「日本みつばち百花蜜」



iTQiで2つ星を獲得したときの受賞式

んの方針で身に付け、今では行政からの委託で街路樹を整備したり、個人の庭のメンテナンスをしたりと、幅広く仕事をこなしています。

■造園業や養蜂業の魅力

「この仕事の魅力は太陽や自然とともに生きている気がすることです。規則正しい生活が送れますし、仕事を始めてから健康になりましたね」。ただ、常にケガや事故と隣り合わせで、危険も多いので、決して楽な仕事ではないそうです。

「今後は養蜂業を軌道にのせつつ、家族が趣味でやっている仕事を皆さんに紹介できるように発展させたいですね」。固定概念にとらわれず、新しい価値づくりの可能性をもっと研究し、皆さんに喜んでもらえるような商品を開発していきたいと語る小野田さん。

「新しく発案して何かをするより、まわりの人や与えられた環境を生かし、今あるものの価値を高めていく方が自分には向いていると思います」と、いろいろなことに前向きに取り組む姿が印象的でした。

小野田養蜂場
<http://onoda832.com/>



チャレンジ精神旺盛で目標に向かってがんばる

■一念発起して大学を卒業

「成り行きで経営工学科へ入ったので、前期が終わる頃には講義にも興味を持てず、後期に入ると大学へも足が向かない状態でした」。退学も考える中、友人たちがノートを貸してくれたり、先生方が再試をしてくださったりと、周囲の助けもあって何とか進級できたと言います。

「2年になると取るべき単位も多かったため、休まず講義に出ることを目標にしました」。真剣に講義を受ける中で、コンピュータやプログラムに興味を持ち、学ぶのが楽しくなったとか。ゼミではリーダーを任されるまでになり、4年間で無事に卒業したそうです。

■社会人になって学んだこと

最初は飛行機などの部品を作る会社へ就職。「部品の切削加工の技術や材料の知識などが身に付くにつれ、仕事が面白くてね。ところが、機械の操作にも慣れてきた頃に、削ってはいけない部分を削るという大失敗をしたんですよ。すっかり気を落とした太田さんを救ってくれたのが、ベテランの職人さん。「みんな1回はやっているよ」という言葉とともに対処方法も教えてもらったとか。このときの経験から、頭ごなしで怒るだけでは問題解決

にならないと学び、その経験が経営者になって活かされているそうです。

■社長になってからの試練

「24歳で今の会社に入り、30代に入った頃、父が亡くなり社長に就任しました」。就任後、社内的に品質への意識が低く、内部統制ができていないことに気付いた太田さん。ISO取得へのチャレンジを決意し、「ISO9002」を取得します。

ところが、社員からは「官僚的だ」「事務的だ」と批判の声があがります。「それを受け、こんな状況なら廃業した方がいいと言ってしまったんですよ。結果、社員の半数ほどが辞める事態になりました。しかし、今では「航空宇宙防衛規格JISQ9100」を取得するまでの企業に成長しました。

■人を大切に。技術を磨く

そうした大変な経験を経て、社員がやる気になって働ける企業を目指し、気持ちを新たにされた太田さん。

「利益が出たら社員に還元し、顧客の満足はきちんと社員に伝えます。また、損益分岐点を社員に意識してもらいつつ、皆が主役という考え方で経営をしています」。

顧客に対しては、技術を磨いて要望に応えられるよう、社員に指導してい



部品の切削加工技術を駆使した見本製品



株式会社太武製作所 代表取締役
太田 英二氏 (59K)

ます。「物に価値を求めるのではなく、知識や技術など無形の財産を大事にしたいと考えています」。

■趣味の世界でも前向きに

やり終えたときの達成感がたまらないと、太田さんは様々なチャレンジをしています。学生時代には船舶免許や大型免許、社長就任後にはヘリコプターの免許も取得しました。

最近ではスマートフォンのアプリを開発して応募。「深視力」というアプリを作りました。星が5つ付いたときはうれしかったですね。

「iPhone」を手にした太田さんは「こんな風に世の中や社会にイノベーションを与えるような仕事の手伝いをしたいですね」と夢を語ってくれました。

株式会社太武製作所
<http://www.mirai.ne.jp/~otk/>



アツという間の10年

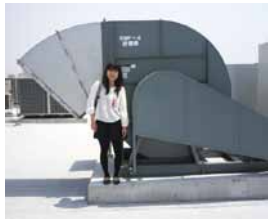
吉田 麻里子さん (H15D)

私は地元企業である東亜設備工業株式会社に勤めています。当社は空調設備、給排水設備工事の設計・施工の専門工事業者として病院・商業施設・公共施設などの建設物を手がけています。建設現場で働きたいという想いで入社し、5年目までは現場担当者として汗を流しました。建物作りを体感すると共に、多種多様な業



旅行先の宮島にて

種から建設物が作られているということの難しさを学びました。5年目以降は設計積算部へ移動しました。自分が計算して作り上げた設計図や見積書を基にたくさんの人達が現場で動くということの重みを感じながら、明確な根拠作りを心がけてがんばっています。アツという間に10年目を向かえ、仕事以外の時間の使い方も上手になり、公私共に充実した毎日を送っています。



2年前の竣工現場にて



仕事とやりがい

助川 拓也さん (H20AS)

清水建設株式会社に入社して5年目。現在は、千葉支店の総合病院新病院建設工事の現場係員として勤務しています。愛工大在学時は、建築見学のために、東北、関東、関西の各地に旅行に出かけました。建築物を見る中で、自分も後世に残るような建築物の建設に携りたいと思うようになりました。主な担当業務は建築工事の施工管理を行っており、各工事の計画、現場管理が主な仕事です。施工管理の業務は、段取り8割、現場2割と言われます。これは、施工計画と事前の前段取りで工事の



善し悪しが決まってしまうという意味です。まだまだ経験不足もあって、事前に打ち合わせを重ねても、連絡の調整不足であったり、物の取り合いが収まっていなかったり様々なトラブルが起こります。そういったトラブルを収めて、次の段取りに生かすことができたとき、喜びとともにやりがいを感じます。建築への憧れから、現場での現実は大変ですが、その分やりがいのある仕事だと実感しています。



建築工事現場のメンバーと

プロゴルファーとしての日々。

2006年3月、経営情報学部マーケティング情報学科卒業の梶本康太郎です。私は卒業して4年後、念願のプロゴルファーになり、今年でプロ3年目です。普段は所属している練習場で自己の練習&一般生徒さんに対するレッスンをしつつ、大学ゴルフ部時代のアルバイト先である多治見市内のスプリングフィールドゴルフクラブでラウンド練習をさせていただいております。プロゴルファーになってからの成績は、2010年中部オープンゴルフ選手権優勝と2008・2010年の日本オープンゴルフ選手権出場です。なかなかレギュラーツアーまでの道のりは厳しく、ツアー予選会、クオリファイイングトーナメント(QT)に毎年挑戦しています。ツアー出場を目指して愛工大魂でがんばります。

梶本 康太郎 (H18T)

中国・四国支部 AITオープンフォーラム開催後の2012年9月15日(土)に支部総会開催!

瑞若会中国・四国支部の総会には、12人の支部役員、卒業生と同窓会本部から、道家秀男会長(51A)はじめ5人の役員が出席。提議された議案を審議の結果、全て原案のとおり承認され、また、支部役員改選により、新支部長に児玉龍夫氏(49K)、事務局長に黒川隆久氏(51A)が選出されました。

瑞若会本部

関西支部 平成24年度支部総会開催!

9月22日(土)にホテル大阪ベイタワーにおいて、瑞若会関西支部の総会が開かれました。26人の支部役員、卒業生と同窓会本部から、道家会長、岩月栄治事務局長(61D)、北川一敬常任理事(H2M)、後藤時政常任理事(H4K)の4人の役員が出席。提議された議案を審議の結果、全て原案のとおり承認され、支部役員について審議の結果、藤田隆支部長(52E)はじめ他の役員の一部の留任が決まりました。

瑞若会本部

長野県支部 新たに支部設立。第1回総会開催!

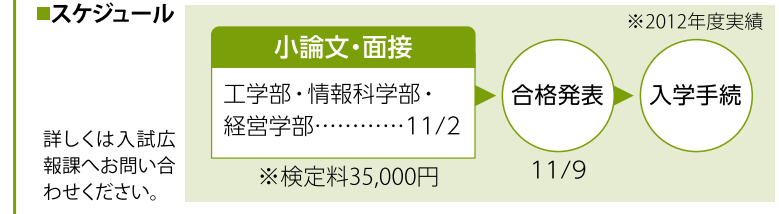
2012年7月7日開催の瑞若会総会において、新たに「長野県支部」設立が承認され、ホテルプエナピスタにおいて10月28日(日)に、第1回長野県支部総会が開かれました。当日は、長野県支部6人の卒業生が出席。同窓会本部から、鈴木達夫副学長(41K)、山田英介瑞若会会長代理(46C)、松本壮一郎副会長(46A)ら5人の役員が参加。山田会長代理から挨拶の後、長野県支部初代役員候補並びに長野県支部規約等について議案が提議され、審議の結果、全て原案のとおり承認され、支部長には加藤満弘氏(54A)が選出されました。

瑞若会本部

入試インフォメーション

同窓生入試で愛工大へ!

開学50周年の記念事業の一環で始まった同窓生入試は、同窓生のご子息を対象にした入試制度です。ぜひ、ご利用ください。



オープンキャンパス開催!

2012年度のオープンキャンパスが7月28日(土)・29日(日)に八草キャンパスと自由ヶ丘キャンパスで開催されました。多くの受験生や保護者が訪れ、熱心に質問したり、学内を見学されていました。10月6日(土)には八草キャンパスで大学祭と同時に開かれ、親子連れの方も多く見られました。

★多彩な入試制度を用意しています! (スポーツ推薦) (女子学生推薦) (一般推薦)

★早めの合格を目指すなら、推薦入試 (一般入試) (下記日程) 1月以降の出願で受験できます。

■入試日程 ※出願に関して、前期日程A方式、前期日程M方式、後期日程M方式、センター3期はメチロ必着(持ち込み可)で、これ以外の入試はメチロ当日の消印有効です。

入試区分	入試の名称	出願期間	試験日	実施学部	試験会場	合格発表日
前期日程	一般入試	1/7(月)~21(月)※	1/27(日)	全学部	本学(八草)、本学(自由ヶ丘)、名電(北校舎)、岐阜、四日市、津、浜松、静岡、富山	2/9(土)
	センター試験利用入試		1/28(月)			
	センター試験利用入試	1/29(火)				
後期日程	一般入試	2/1(金)~22(金)※	3/2(土)	全学部	本学(八草)、本学(自由ヶ丘)、岐阜、四日市、津、浜松、静岡、富山、金沢、岡山、松本、福岡	3/7(木)
	センター試験利用入試		2/25(月)~3/8(金)※			
	センター試験利用入試					

経営学部が 変わります!

2013年度より、経営学部は経営情報システム専攻とスポーツマネジメント専攻の2専攻になります。従来のビジネスマネジメント専攻は経営情報システム専攻と統合し、新たなカリキュラムで5つの専門コース「経営者育成」「企画・営業・サービス」「経理・会計」「IT技術者」「ものづくり技術経営」を設けて、今まで以上に企業で求められる人材の育成をすすめていきます。

入試に関するお問い合わせ | 愛知工業大学・入試センター TEL 0120-188-651 (入試広報課) FAX 0565-48-0024 e-mail nyushi@aitech.ac.jp

AIT OPEN FORUM

2012年度のAITオープンフォーラムが6会場で開催され、各講師により興味深い講話が行われました。

- 第96回 平成24年9月8日(土) 岐阜グランドホテル
テーマ: 近未来の生活・環境
講師: 工学部建築学科 建部 謙治 教授
- 第97回 平成24年9月15日(土) 岡山ロイヤルホテル
テーマ: 本学は全国の大学で最初に緊急地震速報を導入しました!
講師: 工学部都市環境学科 正木 和明 教授
- 第98回 平成24年9月22日(土) 金沢都ホテル
テーマ: 中国の建築文化の伝来について
一華北・華中・華南地方の仏教建築の北陸地方への伝播
講師: 工学部建築学科 杉野 丞 教授
- 第99回 平成24年9月29日(土) ホテルクラウンパレス浜松
テーマ: ホットとする場所-学生の「家」と「学校」での居場所感-
講師: 基礎教育センター総合教育教室 甲村 和三 教授
- 第100回 平成24年10月20日(土) 四日市都ホテル
テーマ: 眼力(メガカラ)と日常生活
講師: 経営学部経営学科 石垣 尚男 教授
- 第101回 平成24年10月28日(日) ホテルプエナピスタ(松本)
テーマ: CSR「環境・食料問題への取り組み」
-食べ物「モッタイナイ」をなくそう-
講師: 経営学部経営学科 石井 成美 教授



本学は全国の大学で最初に緊急地震速報を導入しました!

講師: 正木 和明教授 工学部都市環境学科

「東日本大震災は甚大な災害をもたらしましたが、一方で緊急地震速報の有用性も検証され、広く国民に知られるところとなりました。本学は緊急地震速報を全国の大学に先駆けて平成19年2月から導入しています。これまで6回の避難訓練を行い、学生と教職員が一体となって真剣に防災に取り組んでいます。全国からも注目される全学プロジェクトです」との解説に始まり、緊急地震速報の仕組みと本学における活用状況の紹介がなされました。

就職インフォメーション

瑞若会(同窓会)企業展にご参加ください

瑞若会(同窓会)では在学生への支援の一環として、主に4年生を対象に学内企業展を開催し、就職機会の創出をしています。平成24年度は、5月26日(土)に「瑞若会(同窓会)企業展2012」を開催。AITプラザ1階において、午前の部(10:00~12:00)と午後の部(13:30~15:30)の2部にかけて行い、午前35社・午後35社の企業と、午前208名・午後175名の学生の参加がありました。

【瑞若会(同窓会)企業展2013のお知らせ】

平成25年度は、5月18日(土)または25日(土)の開催予定です。参加ご希望の場合は、平成25年2月末までに、FAXまたはE-mailにてお申込みください。ご不明の点などは、下記「愛知工業大学・キャリアセンター」へお問い合わせください。

※応募多数の場合は勝手ながら抽選の上、出展企業を決定します。結果は3月末までに愛知工業大学・キャリアセンターよりご連絡させていただきます。

卒業生向けの求人検索サービス開始!

卒業生の方々も求人検索ができるようになりました。新卒向けの求人票の中で「既卒可」のみの検索ができますので、登録をして学籍番号とパスワードでログインしてください。

既卒者求人検索
<http://www.aitusyoku.com/>

インターンシップ制度について

キャリアセンターでは、各専攻の担当教員と連携をし、就職指導・支援を行っています。インターンシップ制度を活用した職場体験もすすめておりますので、学生受け入れにご協力いただける企業様は、キャリアセンターまでご連絡ください。

Web求人登録システム

Webから求人登録もできます。ご利用ください。
URL <http://www.kyujin-navi.com/uketsuke/>

就職に関するお問い合わせ | 愛知工業大学・キャリアセンター TEL 0565-48-4655 (直) FAX 0565-48-6140 e-mail syusyoku@aitech.ac.jp

IT経営の重要性を伝えるために

石井成美教授は愛工大を卒業後、ソフトウェア会社で23年間にわたり、SEやコンサルタントとして「IT経営」に携わってきました。そうした中で40歳のときに社会人大学院で経済と経営を学びなおしたそうです。

実戦経験があり、知識があり、セオリーを理解しているとして、愛工大からの誘いを受け、3年前に大学へ移った石井教授。「経営とITの両方に精通した人材を育てたいと常々思っており、いつかは母校のお役に立ちたいとの思いから、お引き受けしました」。

IT経営をテーマに研究

ITの活用を通じて企業の経営課題を解決するという「IT経営」。「企業ではITの導入そのものが目的になっているケースが多々見受けられますが、本来は経営戦略があり、それを実現する手段の一つにITがあるべきなんです」。経営戦略が間違っていたり、経営戦略を理解しないでIT化しても効果はなく、企業はよくなるかと言います。「経営戦略が変われば、ITシステムの変更も必要です。ITは経営戦略を支援するツールなのですから」。

現在、石井教授がすすめているのは、PLM(プロダクト・ライフサイクル・マネジメント)システムの研究。企業の製品やサービスの企画段階から製造や販売、廃棄に至るまでのライフサイクルにおいて一元的に情報やプロセスを管理していくものです。「中小企業であれば導入が可能ではないかという視点で研究をしているところです」。

ゼミにて「ITコーディネータ」研修のミニ体験版

「多くの企業においては、経営がわかりITがわかる人材が少なく、それぞれの専門家が別々にやっているのが現状です」。そこで必要とされるのが、経営とITをつないでITの利活用を推進するプロフェッショナルです。経済産業省の推進資格で、ITコーディネータ協会(※1)が認定する「ITコーディネータ」という資格があり、石井教授は2002年4月に資格を取得し、現在ITCインストラクターでもあります。資格を取るには1日8時間15日の研修と認定試験に合格する必要があると言います。

「ゼミではITコーディネータ研修のミニ版を行っています」。事例をあげて、企業の現状や社会背景な



石井教授の推進するドギーバッグ

どをまとめ、経営戦略から財務、ITまでにおよぶ資料を作成し、最後にプレゼンテーションを行うというものです。「この研修を通して学生に経営とITの両方を理解していることの大切さを教えたいと思っています」。ゼミ生以外でも参加を受け入れているそうで、1年目には社会人大学院生の参加があり、実際に仕事の現場で役立っているという声を聞いているそうです。

「ドギーバッグ普及」を推進

石井研究室のもう一つの活動が食べ残しを減らそうという「ドギーバッグ普及」の推進。石井教授がドギーバッグ普及委員会(※2)の名古屋事務局長をしていることがきっかけでゼミ活動に取り入れています。

「大学の自由ヶ丘キャンパス内ランチルーム(※3)に協力してもらい、食べ残さないようにごはんの小盛りを申し出てもらうなどの運動をして、その成果を集計したり、大須でキャンペーンを行ったりしました」。環境配慮型の企業経営をどう行うかということにもつながり、環境配慮を持続するためにどうITを活用できるかを考えるきっかけにもなると言います。

カリキュラム再編にも一役

大学では、2013年度からビジネスマネジメント専攻を経営情報システム専攻と統合し、新たな「経営情報システム専攻」として経営戦略とITの両方がわかる人材を育成しようとしています。

新しいカリキュラムでは、「経営者育成」「企画・営業・サービス」「経理・会計」「IT技術者」「ものづくり技術経営」という5つの専門コースを用意し、ビジネスの現場で実際に活躍できる人材育成を目指しています。

「これからの時代に求められるIT経営のわかる人材を育てていきたいですね」と、石井教授は自身の経験を生かし、企業が求める人材育成に力を入れています。

企業での経験を生かし、「IT経営」について指導する



※1 ITコーディネータ協会 ▶ <http://www.itc.or.jp>
 ※2 ドギーバッグ普及委員会 ▶ <http://doggybag-committee.com>
 ※3 カフェドソレイユ(株)五十鈴商会

CLUB クラブ紹介 **卓球部**

愛工大の前身、名古屋電気大学が開学した年に創設された歴史あるクラブ。東海学生リーグ戦では、10季連続優勝、実業団チームのリーグ戦に唯一学生チームとして参戦し、準優勝を果たすなど数々の優秀な成績を残し、日本を代表する選手を輩出している名門クラブです。



レギュラーメンバー(8名)

鬼頭 明 監督 (H9K)

《プロフィール》

1974年生。9歳から卓球を始め、愛知工業大学附属中学校、愛知工業大学名電高等学校、愛工大とすすみ、数々の試合で成績を残す。卒業後、プロ選手となりドイツリーグでも活躍。「アテネオリンピック男子ダブルス」で、ベスト16に入る。日本でのプロ選手生活を経て、引退後は母校の卓球部で指導にあたる。

日本一を目指して

日本一を目指して日々がんばっています。練習は技術指導を中心にし、部員には結果を求めています。それによって選手に自主性が芽生え、結果的にそれぞれの人間力を高めることにもつながります。

日本一になるためには、優秀な選手をスカウトすることも大事になってくると思います。さらにチームを強くするために、実業団の試合に参加しています。日本リーグで1部として参加している大学は愛工大だけです。日本リーグに出ることで、選手の強化はもちろんのこと、優秀な選手が愛工大でプレーしたいと思うきっかけにもなりますし、選手たちにとっても、試合を通じて、企業の監督や選手に会う機会が多く、就職にも役立つと思っています。

こうした活動ができるのも先輩方が素晴らしい実績や良い習慣を築いてくれたおかげと感謝しています。大学の理解もあるので、とても良い環境で活動ができるのもありがたいですね。

伝統を受け継ぎ、応援してもらえるようなチームを作りたいと思います。

2012年6月23日(土)に行われた「日本卓球リーグ前期大会ホームマッチ」の試合でリコーと対戦



青木 大祐 主将 (4年生)

短い時間で質のいい練習をするよう心がけています。現在のチームは元気があり、仲が良く、プライベートでもよく遊びます。日頃からコミュニケーションをとっているのが、団体戦での強みになっているかなと思います。

目標は、もちろん団体戦の日本一です。がんばりますので、応援よろしくお願いします。

Club Data

- 【創部】 1959(昭和34)年 男子
1968(昭和43)年 女子
- 【部員数】 男子16名 女子9名 合計25名
- 【成績】 ※2012年10月現在
- ・インカレ優勝 男子4回 女子3回
- ・全日本学生選手権大会個人戦優勝
男子シングルス5名(5回) 女子シングルス2名(3回)
男子ダブルス7組 女子ダブルス4組
- ・東海学生リーグ戦優勝 男子83回 女子58回


退職教員紹介



久野和宏
工学部電気学科 教授



小嶋憲三
工学部電気学科 教授 (現特任教授)




小池慎一
情報科学部 情報科学科 教授

八草は何と言っても自然がいい。春ゼミ、ニイニゼミ、油ゼミ、熊ゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシと春から初秋にかけて7種類の蝉の声を聞くことができる。鳥の事も多彩である。四十ガラ、オオルリ、ヒバリ、ウグイス、ホトギス。春先の田ゲラや晩秋の百舌(モズ)もい。水辺で青サギやカワセミに会うこともある。かつて5号館脇の側溝の水たまりに小さなヨシノボリの家族が平和でつましやかな生活を送っていたのが忘れ難い。いつまでも身近な自然を大切に作る学園であってほしい。

50年の歳月を愛工大にお世話になりました。1965年に助手に採用され、母校の教員として教育・研究を通じ大学造りに関わることができました。その間、電気工学科の八草キャンパス移転(1972年)にとまない、研究室や強電実験室の設計と実験機器的設置作業に携わった若き日々の記憶が鮮明に思い出されます。草創期の大学や同窓会のすべてが活気に満ちていて、学生・卒業生・教職員の協力のもとに今日の姿に発展したものと信じています。


本学には、当初計算センター、その後情報科学科に在籍しました。大学に在る間は変化に無頓着でしたが、思い出してみると赴任当時は9号館までしかなかったのが、10号館から13号館、現1号館、情報教育センターなどが増えています。これから先、どのように発展していくのが見られないのが残念です。また、個人的には、理系一色だった頭を文系にも開こうと、本棚の小説を言語で読むべく辞書片手に奮戦している毎日です。



新宮博康
工学部電気学科 准教授



成瀬治興
工学部建築学科 教授




椎野 努
情報科学部 情報科学科 教授

これまで、根っからの出雲人として歩んできました。愛工大で40年あまり、成長初期を過ごせたことは幸運でありました。ロボット研究では、ユニメート社エンゲルバーガー氏と出会い、議論したことは今の世界を見ると、特に感慨深いものがあります。昨年の東北大災害に馳せ参じられなかったことが悔やまれますが、今後の復興に向け頭をめぐらす毎日です。本当はね!教えとは父母の口伝を含め多くを子に残すことだと思います。ご活躍を祈ります。

1968年、愛知工業大学に建築学科が創設されてから44年間、良き学生さん、あたたかい先輩、同僚、後輩の教職員の方々に支えられて、無事、定年を迎えることができました。本当にお世話になりました。また、顧問を務めていた管弦楽団への瑞若会からの長年のご援助に深謝申し上げますとともに、今後とも、引き続きご助力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。私も愛工大を卒業できましたので、これからも同窓生の一員として扱っていただければ幸いです。愛知工業大学と瑞若会の益々のご発展をお祈り致します。

2002年より7年間工学部情報通信工学科に、その後3年間情報科学部情報科学科にお世話になりました。その間、情報処理技術者として必須と思われる情報数学、ソフトウェア工学、人工知能等の講義を担当してきました。若い人たちが基礎学力と新しい技術を身につけて巣立って行くのを見るのは大変嬉しいものでした。瑞若会の皆さんが愛工大の卒業生として誇りを持って社会で存分に活躍されることを祈っています。



小栗友一
基礎教育センター 教授(現特任教授)

第20回瑞若会役員名簿(平成24年度)

会 長	道家 秀男 (51A)	
会長代理	山田 英介 (46C)	
副 会 長	水野 政光 (45E) 久富 政俊 (45K) 飯吉 僚 (46R) 加藤 信夫 (46D) 松本壮一郎 (46A) 近藤 高司 (48K) 建部 謙治 (48A) 大川 博基 (49K) 桜井 伸彦 (56E) 伊藤 雅 (59K)	
監 事	渡辺 修 (45M) 毛利 隆治 (46C) 矢野 敬典 (50K)	
顧 問	有川 満春 (37E) 加藤 厚生 (37E) 若山 茂 (37E) 大塚 敏雄 (38E) 細江 文彦 (38E) 高田 良弘 (38R) 小嶋 憲三 (40E) 稲垣 慎二 (40C) 石川 貴之 (41K) 岩田 和彦 (41K) 太田 修 (41E) 鈴木 達夫 (41K) 野崎 克己 (41K) 大葉 正之 (42M)	
事務局 長	岩月 栄治 (61D)	
事務局次長	川出 善晴 (49K) 宇田 秀樹 (55E) 水野 勝教 (63R) 中野 寛之 (H10E) 奥野 佳宏 (H10K)	

常任理事	37E 畦地 耕司 41E 遠山 鎮雄 42E 竹田 昌治 45E 市川 繁富 45E 美頭甲子雄 51E 中西 保幸 54E 三宅 寛 H13E 前田 賢 42R 山岸 昭彦 50R 松林 巧
理 事	41E 落合 鎮康 41E 成田 信裕 41E 寺本 和幸 42E 川原 雄一 42E 野村 勝美 43E 一柳 勝宏 46E 尾島 仁 47E 渡部 進 48E 藤岡 経丸 60E 二木 和雄 43R 河辺 和夫 45R 澤田 文夫 50R 近藤 修司 50R 山本 久雄 56R 米永 裕司 59R 坂本 常豊 417R 中根 創 39C 木村 好宏 39C 伊豫田美津男 41C 松尾 光正 42C 安田 秀夫 44C 高田 宣章 45C 尾之内千夫 46C 立木 次郎 46C 安島 隆夫 49C 青山 裕充 56C 楓 美智彦 60C 玉置 徳人 H11C 太田 勝矢 H10C 関澤新一郎 42M 原田 稔 43M 高原 光立 43M 橋 照泰 45M 飯田 穂 47M 粕本 増幸 47M 古市 裕司 H14M 松井 良介 41K 菅 八三郎 42K 近藤 恭弘 44K 高場 理守 44K 松沢 勝義 46K 長江 俊一 48K 余語 孝文 48K 後神 公一 51K 佐藤 友泰 53K 前田 清二 62K 奥田 好弘 H1K 下山 幸二 H6K 熊谷 弘 H7K 鮎澤 智美 H11K 坂野 慎介 42D 河合 壺 42D 河合 壺 43D 羽柴 喜彦 44D 大野 良蔵 47D 福井 猛朗 51D 玉木 伸秀 60D 近藤 直樹 61D 藤本 博史 62D 後藤 弘蔵 H1D 川島 道徳 H4D 近藤 信彦 H11D 山田 真吾 46A 下田 哲壮 47A 居村 年男 49A 山田 明英 50A 中野 正 50A 中野 正 50A 中野 正 50A 中野 正 50A 中野 正 52A 鳥居 和馬 54A 加藤 満弘 57A 澤野 美幸 57A 熊谷 英美 H11A 坂本 成 55B 加藤 幸範 55B 丹羽 利信 55B 長谷川幸秀 55B 松田 茂久 H4J 石黒 孝 H4J 民田 晴也 H5J 伊藤 博司 H6J 国立 忠秀 H6J 国立 忠秀 H6J 国立 忠秀

事業報告(平成24年1月1日~平成24年12月31日)

月	本部の会議	各種行事
1月		
2月	第7回瑞若会創立50周年記念事業実行委員会開催(2/23)	▲愛知県私立大学同窓会連合会拡大事務局長会議(2/15)
3月	第5回事務局会議開催(3/21) 第5回総務常任委員会開催(3/22)	■平成23年度卒業式「瑞若賞」贈呈(3/23) 卒業生に記念品配布(3/23)
4月	第8回瑞若会創立50周年記念事業実行委員会開催(4/12)	■平成24年度入学式(4/1) 新入生に「START-UP」配布 第1回事務局会議開催(5/25)
5月	第9回瑞若会創立50周年記念事業実行委員会開催(5/17)	●瑞若会(同窓会)企業展(5/26)
6月	第1回総務常任委員会開催(6/8) 第10回瑞若会創立50周年記念事業実行委員会開催(6/14)	■「みずわか」編集委員会開催(6/7) ▲愛知県私立大学同窓会連合会平成24年度理事・総会(6/29)〈名古屋観光ホテル〉
7月	●瑞若会理事会・総会開催(7/7)	▲南山大学同窓会設立60周年記念式典出席(7/1) ●瑞若会創立50周年記念行事開催(7/7) ●新会員のデータ入力(7/11) ●新会員の同窓会費入金処理(7/11) ●「みずわか」編集委員会開催(7/20) ●職場支部「近藤グループ」懇親会(7/20)
8月		
9月		▲岐阜AITオープンフォーラム(9/8)〈岐阜グランドホテル〉 ▲中・四国AITオープンフォーラム(9/15)〈岡山ロイヤルホテル〉 ●中・四国支部総会(9/15)〈岡山ロイヤルホテル〉 ▲北陸AITオープンフォーラム(9/22)〈金沢都ホテル〉 ●関西支部総会(9/22)〈ホテル大阪ベイクタワー〉 ●静岡AITオープンフォーラム(9/29)〈ホテルクラウンパレス浜松〉
10月	第2回総務常任委員会開催(10/4)	■愛工大祭(10/6~10/7)開催への援助 ■工科展(10/6)「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈 ▲三重AITオープンフォーラム(10/20)〈四日市都ホテル〉 ▲愛知県私立大学同窓会連合会拡大事務局長会議(10/23) ▲長野AITオープンフォーラム(10/28)〈ホテルブエナビスタ〉 ●長野県支部総会(10/28)〈ホテルブエナビスタ〉
11月	第3回総務常任委員会開催(11/22)	■駅伝大会(11/7)「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈 ▲愛知大学創立60周年記念式典出席(11/10) ▲名古屋電気学園創立100周年記念式典出席(11/13)
12月		●「みずわか vol.45」会員へ郵送 ▲関西支部・中・四国支部「合同意見交換会」(12/1) ▲名古屋電気学園100周年記念 愛工大テクノフェア(共催)(12/7)

凡例: ●本部事業 ■学内事業 ●支部事業 ▲その他

平成23年度 決算書(収支計算書)

経常経費(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
入 会 金 (基 本 金)	4,400,000	4,140,000	△ 260,000	1,035人
終 身 会 費	22,000,000	20,720,000	△ 1,280,000	1,035人+1人
年 会 費	0	0	0	
受 取 利 息	700,000	212,626	△ 487,374	
雑 収 入	0	0	0	
当 期 収 入 合 計 ①	27,100,000	25,072,626	△ 2,027,374	
前 期 繰 越 金 ②	52,852,454	52,852,454	0	
収入の部合計 ①+②	79,952,454	77,925,080	△ 2,027,374	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
学 科 ・ 支 部 援 助 費	4,000,000	4,011,200	11,200	
名簿管理・IT関連費	1,500,000	1,203,410	△ 296,590	
会 報 発 行 費	7,200,000	7,232,154	32,154	
大 学 祭 援 助 費	600,000	600,000	0	
卒 業 記 念 品 費	2,500,000	2,490,100	△ 9,900	
準 会 員 支 援 費	2,000,000	1,706,765	△ 293,235	
[小 計]	17,800,000	17,243,629	△ 556,371	
人 件 費	3,000,000	2,825,605	△ 174,395	
消 耗 品 費	400,000	270,132	△ 129,868	
会 議 費	1,500,000	1,631,963	131,963	
慶 弔 費	100,000	31,000	△ 69,000	
私 大 同 窓 会 連 合 会	300,000	199,080	△ 100,920	
雑 費 ・ 手 数 料	150,000	158,272	8,272	
[小 計]	5,450,000	5,116,052	△ 333,948	

予 備 費	500,000	500,000	0	東日本大震災寄付
基 本 積 立 金 へ	4,400,000	4,140,000	△ 260,000	入会金
学 園 創 立 100 周 年 寄 付	20,000,000	20,000,000	0	
当 期 支 出 合 計 ③	48,150,000	46,999,681	△ 1,150,319	
当 期 収 支 差 額 ④(①-③)	△ 21,050,000	△ 21,927,055	△ 877,055	
50 周 年 準 備 費 へ ⑤	3,000,000	3,000,000	0	
次 期 繰 越 金 ⑥(②+④-⑤)	28,802,454	27,925,399	△ 877,055	
支出の部合計 ③+⑤+⑥	79,952,454	77,925,080	△ 2,027,374	

基本積立金(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

収入の部

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
経常経費から繰入	4,400,000	4,140,000	△ 260,000	入会金
前 期 繰 越 金	192,620,087	192,620,087	0	
収 入 の 部 合 計	197,020,087	196,760,087	△ 260,000	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
次 期 繰 越 金	197,020,087	196,760,087	△ 260,000	
支 出 の 部 合 計	197,020,087	196,760,087	△ 260,000	

50周年準備費(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

収入の部

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
経常経費から繰入	3,000,000	3,000,000	0	
前 期 繰 越 金	21,115,326	21,115,326	0	
収 入 の 部 合 計	24,115,326	24,115,326	0	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
印 刷 費	0	1,297,800	1,297,800	
次 期 繰 越 金	24,115,326	22,817,526	△ 1,297,800	
支 出 の 部 合 計	24,115,326	24,115,326	1,297,800	

会員計報

電気工学科	1967 伊藤 辰夫 1984 岩田登志郎
	1994 角谷 仁 1970 後藤 幸司
電子工学科	1969 服部 弘彦 1982 神戶 敏明
	1973 西郷 雅行 1996 赤坂 信介
	1977 新村 雅夫 建築学科 1984 山崎 義孝
	1986 可児 勝広 建築工学科 1979 三宅 史朗
応用化学科	1983 角竹 真也 経営工学科 1966 黒川 育治
	2010 角田 真也 1966 黒川 勝
機械工学科	1975 金井 武光 1970 関尾 正史
	1980 近藤 俊光 1974 黒川 正博
	1981 高橋 宗彦

おおよしお 大根義男教授が、2012年9月5日に逝去されました。ご冥福をお祈りします。1968年土木工学科教授就任後、総合技術研究所と都市環境学科の特任教授を経て、2011年より都市環境学科客員教授。